

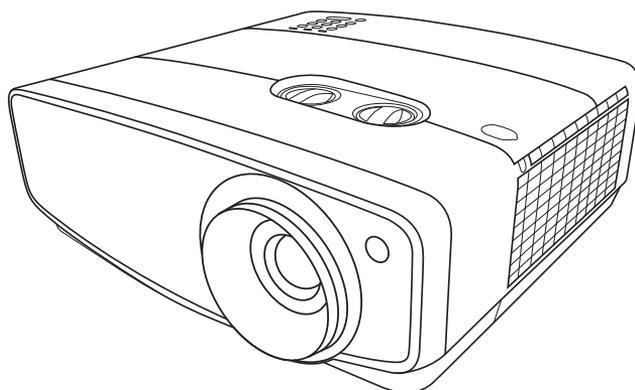
# JVC

## 取扱説明書

DLP プロジェクター

---

# LX-UH1



**HDMI**™  
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

# 目次

安全のために.....	3	ランプについて.....	31
安全のためのご注意.....	4	ランプ時間を知るには.....	31
概要.....	7	ランプ寿命を延長する.....	31
パッケージ内容.....	7	ランプを交換する時期.....	32
プロジェクター外観ビュー.....	8	ランプの交換.....	33
制御装置および機能.....	9	インジケータ.....	35
コントロールパネル.....	9	問題を解決する.....	36
リモコン.....	10	仕様.....	37
インストール.....	12	プロジェクターの仕様.....	37
場所の選択.....	12	外形寸法.....	38
スクリーンサイズの調整.....	13	タイミングチャート.....	39
接続.....	15	保証と著作権について.....	44
操作.....	16	保証.....	44
プロジェクターの起動.....	16	著作権.....	44
プロジェクターの終了.....	16	おことわり.....	44
入力ソースの選択.....	17		
投写画像の調整.....	18		
投写角度の調整.....	18		
画像サイズとフォーカスの調整.....	18		
台形補正.....	18		
メニュー機能.....	19		
OSDメニューについて.....	19		
OSDメニューの使用方法.....	19		
ピクチャーメニュー.....	20		
表示メニュー.....	23		
設置メニュー.....	24		
システム設定：基本メニュー.....	25		
システム設定：詳細メニュー.....	25		
情報メニュー.....	27		
OSDメニューの構造.....	28		
メンテナンス.....	30		
プロジェクターのお手入れ.....	30		

# 安全のために

本製品には、水銀を含む高輝度放電ランプ (HID) が使用されています。お住まい地域の規定にしたがって処理してください。これらの素材の廃棄については、環境保全に配慮してお住まい地域で条例により定められている場合があります。廃棄または再利用についての情報は、お住まい地域の行政機関にお問い合わせください。米国の場合は、Electronic Industries Alliance : <http://www.eiae.org> にお問い合わせください。電話番号 : 1-800-252-5722 (米国) または 1-800-964-2650 (カナダ)。

## FCC 情報 (米国のみ)

### 注意 :

株式会社 JVCケンウッドが認めない変更または改ざんを行った場合は、この装置を使用する権利が無効になります。

### 注 :

この装置は、FCC 規定の第 15 条に準じ、Class B デジタル機器の制限に従っています。これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。本デバイスはラジオ周波エネルギーを発生、使用し、さらに放射する可能性があり、指示にしたがってインストールおよび使用しなければ、ラジオ通信に有害な障害を与える場合があります。しかしながら、特定の方法で設置すれば障害を発生しないという保証は何もありません。このデバイスがラジオや TV 受信装置に有害な障害を与える場合は (デバイスの電源を一度切って入れなおすことにより確認できます)、障害を取り除くために次の方法にしたがってください。

- 受信アンテナの方向を変える、または設置場所を変える。
- このデバイスと受信装置の距離をあける。
- このデバイスの受信装置とは別のコンセントに接続する。
- 販売店または経験のあるラジオ / テレビの技術者に補佐を求める。

### 適合宣言

モデル番号 : LX-UH1B、LX-UH1W

商標 : JVC

発売元 : JVCケンウッド USA Corporation

所在地 : 1700 Valley Road Wayne, N. J. 07470

電話番号 : 973-317-5000

この機器は FCC 規定の 15 部に従います。

その操作は次の条件に従います。

(1) この機器は有害な干渉を生じないこと (2) この機器は不都合な操作を生じる可能性のある干渉を含む、すべての干渉を受けること。

## ノイズの発生についての宣言

操作者の位置における音圧レベルは、ISO7779 の規定に従って 60dB(A) と同等、またはそれ以下です。

# 安全のためのご注意

お使いのプロジェクターは、情報テクノロジー機器の最新の安全規格に適合するように設計され、テストされています。ただし、本装置を安全にご使用いただくために、このガイドおよび装置のマークに記載されている指示に従ってください。

1. プロジェクターを操作する前に、この取扱説明書をお読みください。本書は必要なきにいつでも参照できるように、安全な場所に保管しておいてください。
2. 使用時は必ず装置を水平な平面上に置いてください。
  - 本製品を不安定なカート、スタンド、テーブルに置かないでください。製品が落ちてケガをしたり、製品が故障したりする場合があります。
  - プロジェクターの近くに可燃物を置かないでください。
  - 左右の傾きが  $10^{\circ}$ 、または前後の傾きが  $15^{\circ}$  を超える状態で使用しないでください。
3. 装置を縦向きにしないでください。縦向きにすると、プロジェクターが倒れ、けがをしたり損傷する恐れがあります。
4. 次の場所に装置を置かないでください。
  - 通気が不十分な場所または密閉されている場所。壁との間隔を 50 cm 以上空けて、プロジェクターの周辺風通しをよくしてください。
  - 窓を締め切った車内など、非常に高温になる場所。
  - 非常に湿度が高い場所、ほこりの多い場所、タバコの煙にさらされる場所。このような場所に置くと、光学部品が汚れ、プロジェクターの寿命が短くなり、画像が暗くなります。
  - 火災報知器に近い場所。
  - 「**プロジェクターの仕様**」に記載される値を超える場所。
5. プロジェクター動作中に通気孔をふさがないでください（スタンバイモードでも同様）。
  - 本製品の上に布などをかぶせないでください。
  - 本製品をブランケットなどの寝具類、または他の柔らかい物の上に置かないでください。
6. メインの電源電圧が  $\pm 10$  ボルト程度の変動がある場所では、プロジェクターを電源安定化装置、サージプロテクタ、あるいは UPS のいずれかに接続されるようお薦めします。
7. 装置の上に乗ったり、物を置いたりしないでください。
8. プロジェクターの上または近くに液体を置かないでください。プロジェクターに液体が入った場合は、保証は適用されません。プロジェクターを濡らした場合は、電源コンセントからプロジェクターを外し、株式会社 JVCケンウッドにご連絡の上プロジェクターの点検をご依頼ください。
9. 動作中は、プロジェクターのレンズを覗き込まないでください。目を傷つける場合があります。



RG2 IEC 62471-5:2015

10. ランプは定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、ランプが破裂することがあります。
11. ランプは、動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクターの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、プロジェクターを常温に戻してください。
12. プロジェクターが完全に冷却され、電源からコードを外すまでは、絶対にランプ部品を交換しないでください。
13. 本製品を天井に取り付けて、イメージを反転投写することができます。適切な天井取り付けキットをご使用ください。
14. この装置は接地されていなければなりません。

15. 本体を設置する際は、デバイスに手が届きやすい固定配線に繋ぐか、本体の近くにある手が届きやすいコンセントに電源を繋いでください。本体操作時にエラーが発生した場合は、電源を切るか、コードをコンセントから抜いてください。

## 高温についてのご注意

動作中は排気口周辺や排気口上部のキャビネットが高温になります。火傷の原因となることがあります。これらに手を触れないでください。触れると、火傷する恐れがあります。特に小さいお子様にはご注意ください。また、金属を置かないでください。高温になり、事故やケガの原因となることがあります。

## プロジェクターの天井取り付け

プロジェクターを天井に取り付ける場合は、プロジェクター専用天井取り付けキットをお使いになり、しっかりと確実に設置してください。

そうしなければ、ゲージやネジの長さが正確でないためプロジェクターが正しく固定されず落下してしまう恐れがあります。

適切なプロジェクター専用天井取り付けキットは、プロジェクターを購入された販売店でお買い求めいただけます。また別途 Kensington ロックをお求めになり、プロジェクターの Kensington ロックスロットと天井取り付けブラケットのベースをセキュリティケーブルでしっかりと繋いでおくことをお薦めします。このようにしておくこと、万一天井取り付けブラケットが緩んでしまった場合にも、プロジェクターを補助的に支えることができます。

本装置のキャビネットは開けないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合もあります。お客様ご自身で補修できるパーツは、ランプのみです。詳細は [33 ページ](#) を参照してください。

いかなる状況においても、これ以外のカバーをご自身で取り外そうとしないでください。修理は認定サービス担当者にお問い合わせください。

-  将来搬送が必要な場合に備えて、元の梱包材料は捨てずに保管しておいてください。使用後にプロジェクターを梱包する必要がある場合は、搬送中に製品が破損しないように投写レンズを適切な位置に調整し、レンズをレンズクッションで保護し、さらにレンズクッションとプロジェクタークッションをぴったりとくっつけてください。

点検修理については、認定技術者にお問い合わせください。

## 結露

寒い場所から暑い場所へプロジェクターを移動させた後は、すぐには装置を操作しないでください。このように温度が急激に変化した状態では、重要な内部部品が結露する場合があります。プロジェクターの故障の原因となりますので、このような状態では最低でも2時間以上経過してから装置を使用してください。

## 揮発性液体の使用の禁止

殺虫剤やある種のクリーナーなどの揮発性液体を装置の近くで使用しないでください。ゴムやプラスチック製品などを長時間装置に触れたままの状態では、装置に痕が残ってしまいます。化学薬品を染み込ませた布で装置を拭く場合は、本書に記載される安全のための指示にしたがってください。

## 処理

本装置には人体や環境に有害な素材が使用されています。

- リード（はんだに使用されています）
- 水銀（ランプに使用されています）

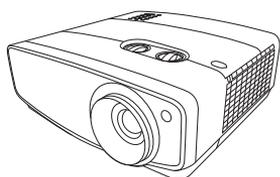
製品や使用済みランプを処理する方法については、お住まい地域の環境局にお尋ねください。

# 概要

## パッケージ内容

丁寧に開梱し、次に示すものがすべて揃っていることを確認してください。本製品を購入された地域によっては、同梱されていないアイテムもあります。ご購入場所をご確認ください。

☞ 一部のアクセサリは、国によって異なる場合があります。



プロジェクター



リモコンと電池



電源ケーブル



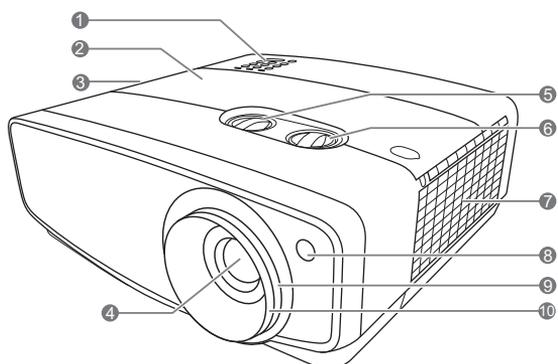
取扱説明書 CD



クイックスタートガイド

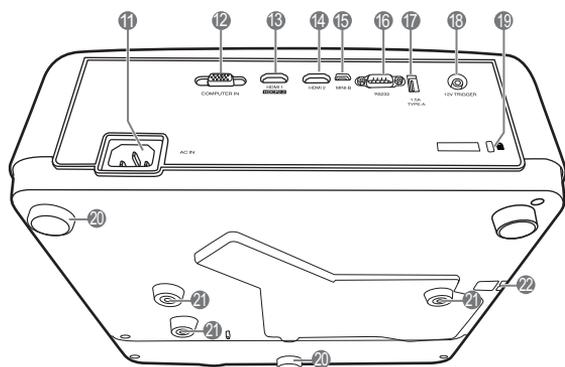
# プロジェクター外観ビュー

## 前面 / 上面



1. コントロールパネル（詳細は「**コントロールパネル**」を参照してください。）
2. ランプカバー
3. 通気（熱気排出）
4. 投写レンズ
5. レンズシフトノブ（左/右）  
投写イメージの水平位置を調整します。
6. レンズシフトノブ（上/下）  
投写イメージの垂直位置を調整します。
7. 通気（冷気取り込み）
8. 正面赤外線リモートセンサー
9. ズームリング  
投写イメージのサイズを調整します。
10. フォーカスリング  
投写イメージの焦点を調整します。

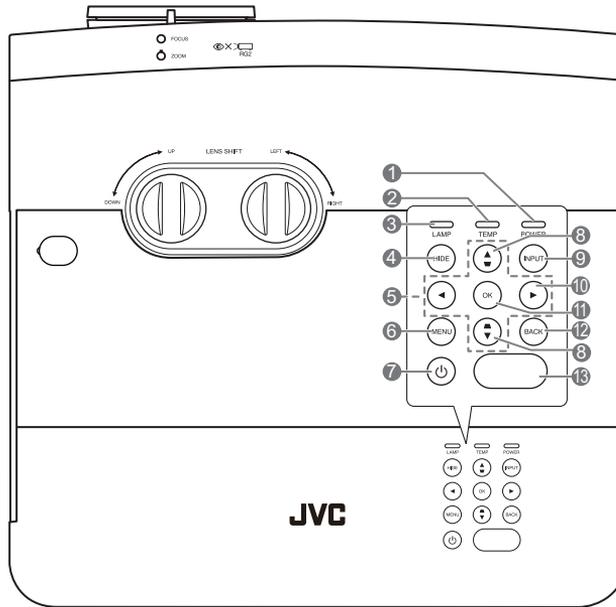
## 背面 / 底面



11. AC 電源コード差し込み口
12. Computer (D-Sub 15 pin) 信号入力端子
13. HDMI 1 ポート (HDCP 2.2)
14. HDMI 2 ポート
15. Mini USB ポート  
補修用です。
16. RS-232 コントロールポート
17. USB Type-A ポート  
外部デバイスの充電に使用します。
18. 12VDC 出力  
電子スクリーンや照明コントロールなど、外付け装置を使用するために使用します。これらの装置の接続方法については、販売店へお尋ねください。
19. Kensington ロックスロット
20. 高さ調整脚
21. 天井取り付け用穴
22. セキュリティバー

# 制御装置および機能

## コントロール パネル



### 1. POWER (電源インジケータ ライト)

プロジェクター動作中に点灯または点滅します。

### 2. TEMP (温度警告ライト)

プロジェクターの温度が異常に高くなると赤く点灯します。

### 3. LAMP (ランプインジケータ ライト)

ランプの状態を示します。ランプに問題が発生すると、点灯または点滅します。

### 4. HIDE

スクリーンを消画します。プロジェクターのリモコンを押すと、映像が復帰します。

### 5. 矢印キー (◀、▲、▶、▼)

オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューが有効な場合、これらのキーを方向指示のボタンとして使用し、メニュー項目の選択や調整を行います。

### 6. MENU

- オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューにアクセスします。
- 前の OSD メニューに戻ったり、終了してメニュー設定を保存します。

### 7. 電源

スタンバイと電源オンの状態を切り替えます。

### 8. 台形補正キー (▼、▲)

キーストーン画面が開きます。斜めの方向から投写した結果歪んでしまった画像を手動で補正する場合は、▲、▼ を使用します。

### 9. INPUT

ソース選択バーを表示します。

### 10. ▶

パネルキーロックを有効にします。キーをロック解除するには、▶ を3秒間押します。または、リモコンを使って OSD メニューを設定します。

### 11. OK

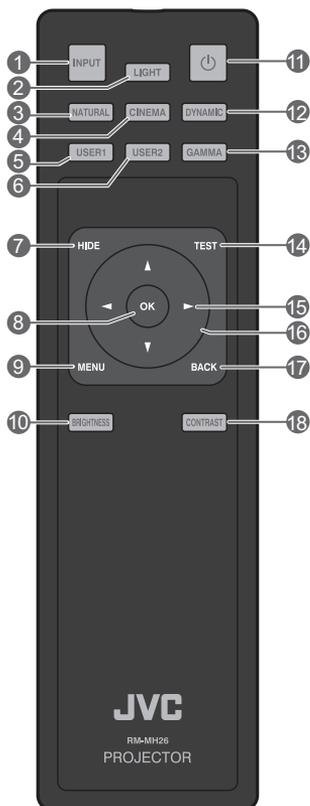
選択したオンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューのアイテムを実行します。

### 12. BACK

前のオンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューに戻り、行った変更内容を保存して終了します。

### 13. IR リモートセンサー

# リモコン



## 1. INPUT

ソース選択バーを表示します。

## 2. LIGHT

リモコンのバックライトを数秒間オンにします。バックライトをオンにしたままにするには、バックライトがオンの状態で別のキーを押してください。バックライトをオフにするには、再度キーを押します。

## 3. NATURAL

ピクチャーモードを選択します：  
ナチュラル。

## 4. CINEMA

ピクチャーモードを選択します：**シネマ**。

## 5. USER1

ピクチャーモードを選択します：**ユーザー設定 1**。

## 6. USER2

ピクチャーモードを選択します：**ユーザー設定 2**。

## 7. HIDE

スクリーンを消画します。プロジェクターからリモコンを押すと、映像が復帰します。

## 8. OK

選択したオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューのアイテムを実行します。

## 9. MENU

- ・ オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューにアクセスします。
- ・ 前の OSD メニューに戻ったり、終了してメニュー設定を保存します。

## 10. BRIGHTNESS

輝度調整の設定バーが表示されます。

## 11. 電源

スタンバイと電源オンの状態を切り替えます。

## 12. DYNAMIC

ピクチャーモードを選択します：  
ダイナミック。

## 13. GAMMA

**ガンマの選択** メニューを表示します。

## 14. TEST

テストパターンを表示します。

## 15. ▶ 右

パネルキーロックを有効にします。キーをロック解除するには、▶ を 3 秒間押します。または、リモコンを使って OSD メニューを設定します。

## 16. 矢印キー (◀ 左、▶ 右、▲ 上、▼ 下)

オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが有効な場合、これらのキーを方向指示のボタンとして使用し、メニュー項目の選択や調整を行います。

## 17. BACK

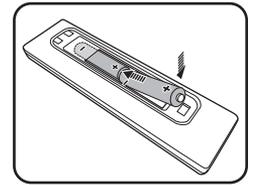
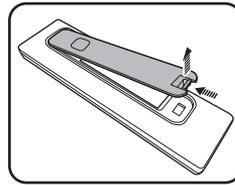
前の OSD メニューに戻ったり、終了してメニュー設定を保存します。

## 18. CONTRAST

コントラスト調整の設定バーが表示されます。

## リモコンの電池の装着 / 交換

1. バッテリーカバーを開くには、リモコンを裏返すと押す部分に刻みがありますので、矢印の方向にスライドさせます。
2. 中に入っている電池があれば取り出し（必要な場合）、バッテリーコンパートメント内で記載されている極性に合わせて単3電池を2個入れてください。プラス極は (+) 方向に、マイナス極は (-) 方向に入れます。
3. カバーをリモコン本体に戻して、正しい位置にしっかりとスライドさせてください。カチツという音がしたら完了です。



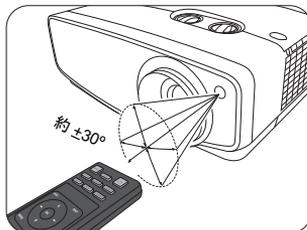
- ⚠️ リモコンや電池は台所、浴室、サウナ、サンルーム、車内など高温多湿の場所に放置しないでください。
- 電池メーカーが推奨するものと同じか、または同種の電池以外は使用しないでください。
- また、使用済みの電池はメーカーの指示および地域の環境規定にしたがって処分してください。
- 電池を火の中に投げ込まないでください。爆発の危険性があります。
- 電池が完全に消耗してしまったり、またはリモコンを長期間使用しないときには、漏電によりリモコンのコントロール部分が破損しないように電池は外しておいてください。

## リモコンの有効範囲

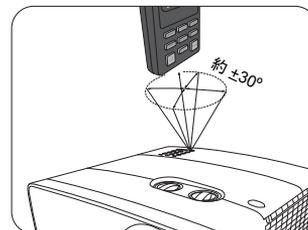
リモコンはプロジェクターの IR リモコン センサーに対して垂直に 30 度以内の角度に持たなければ、正しく作動しません。リモコンとセンサーの距離は、8 メートル（～ 26 フィート）以内でなければなりません。

リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に障害物を置かないでください。

- 正面からプロジェクターを操作する



- 上からプロジェクターを操作する



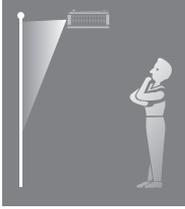
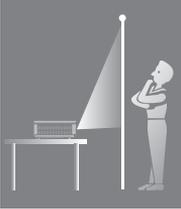
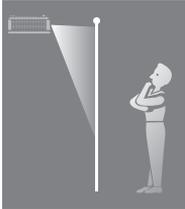
# インストール

## 場所の選択

プロジェクターの設置場所を決める際には、次のことに配慮してください。

- スクリーンのサイズと位置
- コンセントの位置
- プロジェクターとその他の機器の間の位置と距離

このプロジェクターは、次の方法で設置できます。

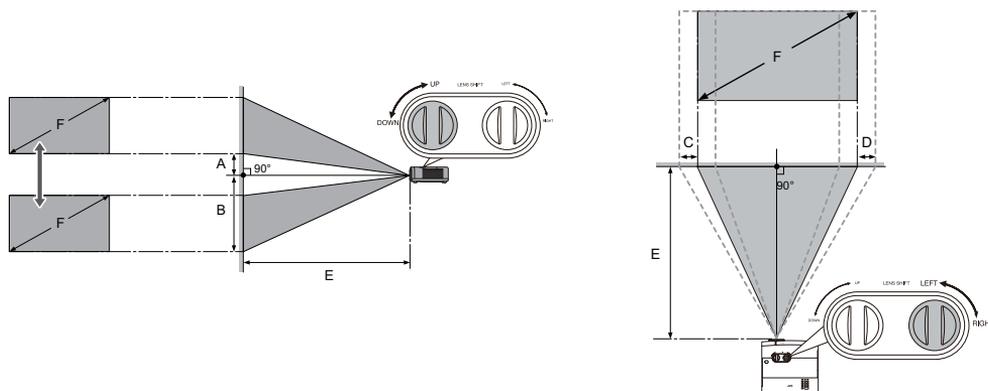
<p><b>1. フロント投映：</b> プロジェクターをスクリーンの正面に床面近くに設置します。</p> <p>これが最も一般的な設定です。</p> <p>プロジェクターの電源を入れて、次の設定を行ってください。</p> <p><b>設置 &gt; プロジェクターモード &gt; フロント投映</b></p>		<p><b>3. 天吊正面：</b> プロジェクターをスクリーン正面の天井に取り付けます。</p> <p>プロジェクターの電源を入れて、次の設定を行ってください。</p> <p><b>設置 &gt; プロジェクターモード &gt; 天吊正面</b></p>	
<p><b>2. リア投映：</b> プロジェクターをスクリーン背面、床面近くに設置します。</p> <p>プロジェクターの電源を入れて、次の設定を行ってください。</p> <p><b>設置 &gt; プロジェクターモード &gt; リア投映</b></p>		<p><b>4. 天吊背面：</b> プロジェクターをスクリーン背面の天井に取り付けます。</p> <p>プロジェクターの電源を入れて、次の設定を行ってください。</p> <p><b>設置 &gt; プロジェクターモード &gt; 天吊背面</b></p>	
<p> 専用の背面投写用スクリーンが必要です。</p>		<p> 専用の背面投写用スクリーンと、適切な天井取り付け用キットが必要です。</p>	

# スクリーンサイズの調整

プロジェクターレンズからスクリーンまでの距離、ズーム設定、ビデオフォーマットが投写画像のサイズに影響します。レンズをシフトさせるには、プロジェクターのつまみを回すと画像位置に応じて範囲内でプロジェクターレンズを好きな方向にシフトできます。

## 正面投写

- 投写位置をレンズシフトの縦方向に調整するとき
- 投写位置をレンズシフトの横方向に調整するとき



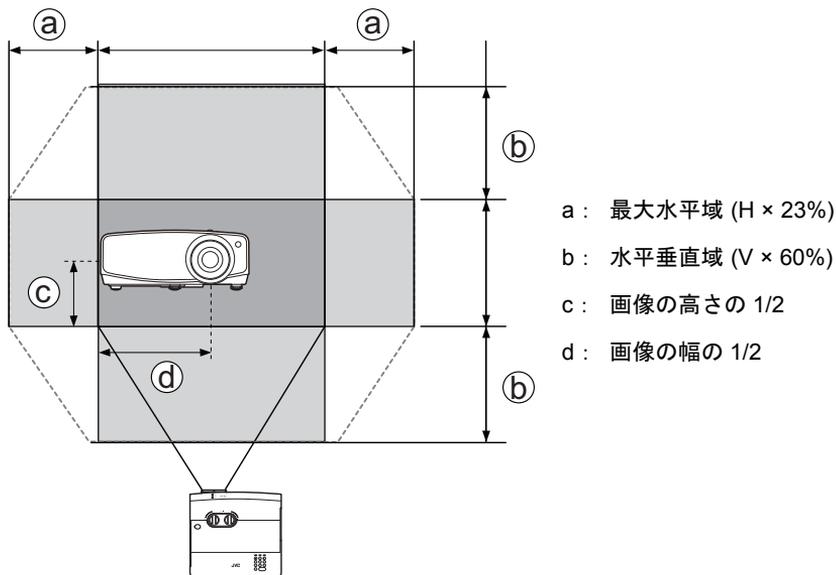
- A: レンズの中心から投写画像の下端までの距離（レンズシフトが最高レベルまで上がっているとき）
- B: レンズの中心から投写画像の下端までの距離（レンズシフトが最低レベルまで下がっているとき）
- C: レンズ中央の移動距離（レンズシフトが最も左に設定されているとき）
- D: レンズ中央の移動距離（レンズシフトが最も右に設定されているとき）
- E: プロジェクターからスクリーンまでの距離
- F: 投写画像のサイズ

- スクリーンの縦横比は 16:9 であり、投写画像の縦横比は 16:9 です。

スクリーンサイズ		投写画像のサイズ (F)				投写距離 (E)				オフセット (A)		オフセット (B)		オフセット (C、D)	
対角		高さ		幅		最短 (ワイド)		最長 (望遠)							
インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm
95	241	47	118	83	210	112	285	180	456	4.7	12	51.2	130	19.0	48
100	254	49	125	87	221	118	300	189	480	4.9	12	53.9	137	20.0	51
120	305	59	149	105	266	142	360	227	576	5.9	15	64.7	164	24.1	61
150	381	74	187	131	332	177	450	283	720	7.4	19	80.9	205	30.1	76
180	457	88	224	157	398	213	540	340	864	8.8	22	97.1	247	36.1	92
200	508	98	249	174	443	236	600	378	960	9.8	25	107.9	274	40.1	102

☞ 測定値はすべておよその値であり、実際のサイズにより変わります。プロジェクターを完全に固定する場合は、事前に実際のプロジェクターを使って投射サイズ、距離、プロジェクターの光学的特性をお試しになることをお勧めします。こうすることで、最適な設置場所を決めることができます。

## レンズシフトの投写範囲



⚠ つまみをこれ以上回せないことを知らせるカチッという音が聞こえたら、回すのを止めてください。それ以上つまみを回すと壊れることがあります。

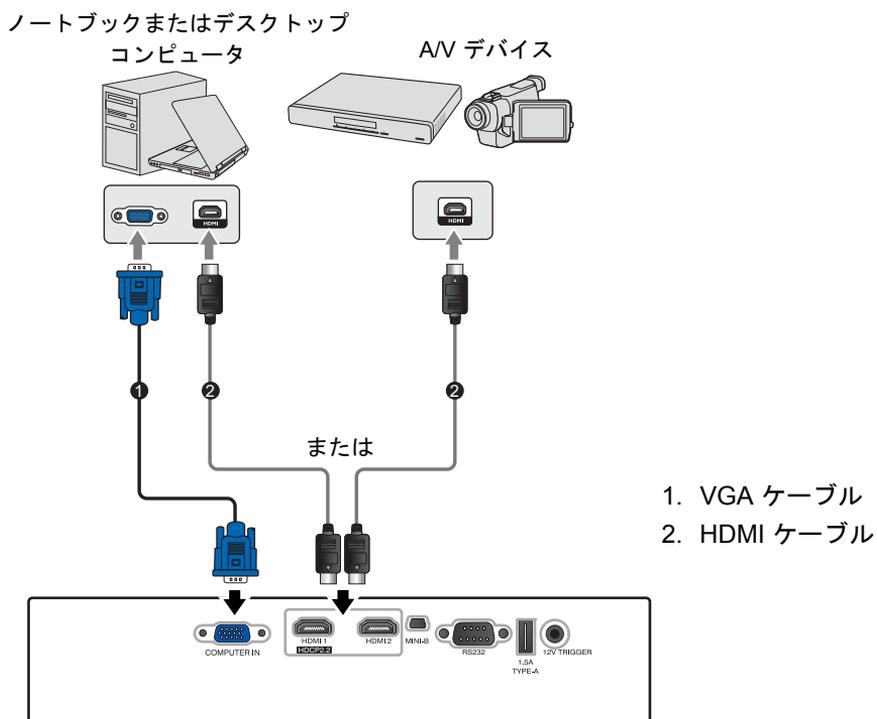
- ☞ 画像は水平方向と垂直方向に同時に最大値まで広げることができません。
- 画質が悪い場合はレンズシフト調整が正常に機能しません。画像が歪む場合は、「[投写画像の調整](#)」を参照してください。

# 接続

信号ソースをプロジェクターに接続する際には、次の点を確認してください。

1. 接続を行う前にすべての機器の電源をオフにします。
2. 各ソースに正しい信号ケーブルを使用します。
3. ケーブルがしっかり差し込まれていることを確認します。

☞ 下の接続図に示されたケーブルは本体に同梱されていません。ケーブルはお近くの電気店でお求めください。



端子	HDCP ver.	対象
HDMI 1	2.2	4K/HDR ソース
HDMI 2	1.4	最大 FHD (2K) ソース

☞ HDMI 1 コネクタだけが 4K (Ultra HD)/HDR に対応します。

# 操作

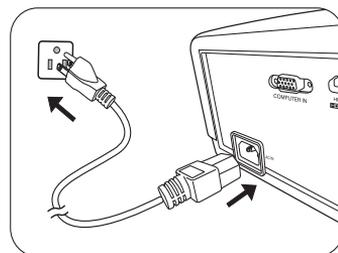
## プロジェクターの起動

1. 電源ケーブルをプロジェクターとコンセントに差し込みます。コンセントのスイッチをオンにします（該当する場合）。電源を入ると、**POWER（電源インジケータ ライト）**がオレンジ色になります。

⚠ 感電や火災などの危険防止のため、付属の電源ケーブルをご使用ください。

2. **⏻** を押してプロジェクターを起動します。**POWER（電源インジケータ ライト）**が緑色に点滅し、投写されると緑色に点灯します。

ファンが作動を開始し、ウォームアップする間スクリーンにスタートアップ画像が表示されます。ウォームアップ中は、プロジェクターはいかなるコマンドにも応答しません。

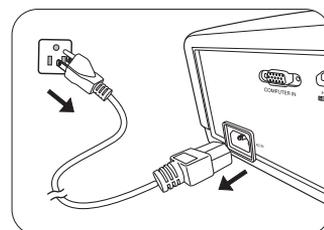


## プロジェクターの終了

1. **⏻** を押します。プロジェクターにシャットダウンの確定メッセージが表示されます。
2. 再び **⏻** を押してください。**POWER（電源インジケータ ライト）**がオレンジ色に点滅し、ファンが2分ほど作動してランプを冷却します。冷却中は、プロジェクターはいかなるコマンドにも反応しません。
3. 冷却処理が終了したら、**POWER（電源インジケータ ライト）**がオレンジ色に点灯します。

長期間プロジェクターをご使用にならない場合は、電源ケーブルを抜いておいてください。

👉 プロジェクターを切った直後に再び電源を入れると、高熱によりランプの寿命が短くなる場合がありますのでお止めください。実際のランプの寿命は、環境や使い方により異なります。



# 入力ソースの選択

このプロジェクターは同時に複数の装置と接続することができます。ただし一度に表示できる装置は 1 台のみです。起動時にプロジェクターは自動的に有効な信号を検出します。

プロジェクターに常に信号を自動検出させたい場合は、

- **システム設定**：基本メニューに進み、**自動入力サーチ** を有効にします。(25 ページの「**自動入力サーチ**」を参照してください)

ビデオソースを選択するには：

1. **INPUT** を押して、ソース選択バーを表示します。



2. 任意の信号が選択されるまで **▲/▼** を押し、次に **OK** を押します。

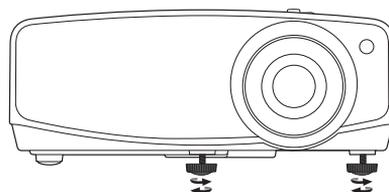
信号が検出されたら、選択したソース情報が画面に数秒間表示されます。プロジェクターに複数の装置が接続されている場合は、ステップ 1-2 を繰り返すと別の信号を検出することができます。

☞ このプロジェクターのネイティブディスプレイ解像度については、「**プロジェクターの仕様**」をご参照ください。最高の画質にするには、この解像度で出力できる入力信号を選択、使用する必要があります。これ以外の解像度を使用すると、アスペクト比の設定によってプロジェクターが画像の縦横比を変更してしまうため、画像が歪んだり、鮮明さが失われたりします。詳細は、「**アスペクト比**」を参照してください。

# 投写画像の調整

## 投写角度の調整

プロジェクターには2個の高さ調節用フットが付いています。これらの調整用脚を使用すると、画像の高さと投写角度を変更できます。適切な角度になるようにフットを調整してください。



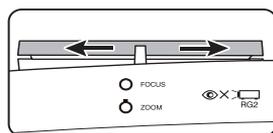
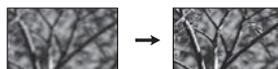
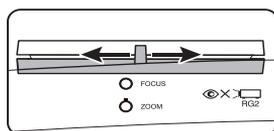
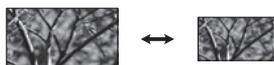
☞ スクリーンとプロジェクターが互いに垂直でない場合、投写イメージは縦方向に台形になります。このような問題を補正する方法については、「**台形補正**」を参照してください。

⚠ ランプが点灯しているときには絶対にレンズを覗かないでください。ランプからは強い光が発せられており、目を傷つける場合があります。

## 画像サイズとフォーカスの調整

投写画像のサイズを調整するには、プロジェクターのズームリングを使います。

画像をシャープにするには、プロジェクターのフォーカスリングを使います。



## 台形補正

台形補正とは、投写画像の上辺または下辺のいずれかが明らかに長くなってしまいう状態のことです。プロジェクターがスクリーンに対して垂直でないときに生じます。

プロジェクターの高さを調整するほか、次のいずれかの手順に従って手動で修正する必要があります。

1. 次のいずれかの方法でキーストーン画面を表示します。

- ・ プロジェクターの ▲/▼ または ▼/▲ を押します。
- ・ リモコンの ▲/▼ または ▼/▲ を押します。

2. 次の図は、台形補正の歪みを補正する方法を示しています。



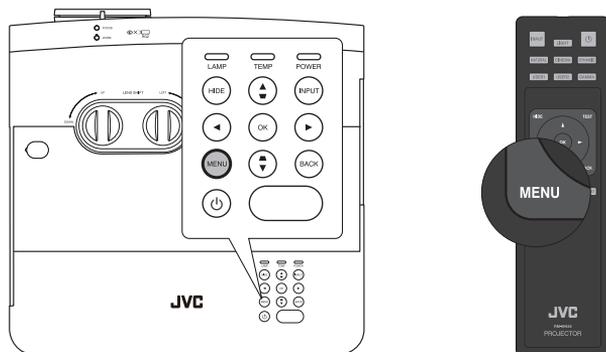
- ・ 画像下部の台形補正を補正するには、▲ または ▲/▼ を使用します。
- ・ 画像上部の台形補正を補正するには、▼ または ▼/▲ を使用します。

完了したら、**BACK** を押して変更内容を保存し、終了します。

# メニュー機能

## OSD メニューについて

OSD メニューにアクセスするには、**MENU** を押します。



## OSD メニューの使用方法



OSD メニューにアクセスするには、プロジェクターまたはリモコンで **MENU** を押します。次のメインメニューで構成されています。詳細は、次のメニューアイテムのリンクをご覧ください。

1. **ピクチャーメニュー** (20 ページ参照)
2. **表示メニュー** (23 ページ参照)
3. **設置メニュー** (24 ページ参照)
4. **システム設定：基本メニュー** (25 ページ参照)
5. **システム設定：詳細メニュー** (25 ページ参照)
6. **情報メニュー** (27 ページ参照)

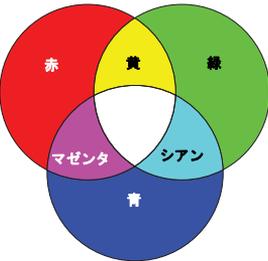
使用可能なメニュー アイテムは、接続されたビデオソースか、指定した設定により異なります。使用できないメニュー アイテムは、グレー表示されます。

- プロジェクターかリモコンの矢印キー (◀/▶/▲/▼) を使って、メニューアイテムを移動します。
- **OK** を使って、選択したメニューアイテムを確定します。

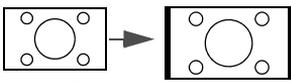
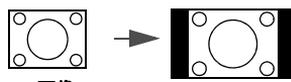
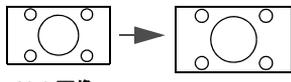
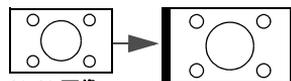
# ピクチャーメニュー

サブメニュー	機能と説明
ピクチャーモード	<p>操作環境に最も合ったプリセットのピクチャーモードと、入力信号の画像タイプを選択します。</p> <p>プリセットのピクチャーモードの説明は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>ナチュラル</b>：色彩と階調を重視した画質で、ドラマやライブ映像などのビデオ素材の鑑賞に適しています。</li> <li>• <b>シネマ</b>：映画らしい彩度とコントラストでシアタールーム等の暗室での映画作品全般の鑑賞に適しています。</li> <li>• <b>ダイナミック</b>：投写画像の輝度を最大化します。このモードは、明るい部屋など、最高輝度が必要な状況に適しています。</li> <li>• <b>ユーザー設定 1/ユーザー設定 2</b>：カスタム設定を呼び出します。<b>ユーザー設定 1/ユーザー設定 2</b> を選択した後は、選択した入力信号に応じて、<b>表示メニュー</b>の中の一部のサブメニューを調整できます。</li> </ul> <p> <b>ユーザー設定 1</b> 初期設定は動画に適しています。<b>ユーザー設定 2</b> 初期設定は HLG (ハイブリッドログガンマ) コンテンツに適しています。UHD-BD などの HDR10 コンテンツが入力された場合、自動的に最適な画質モードに切り替わります。(*ピクチャーモードの切り替えはできません)</p>
ユーザーモード設定	<p>次の機能は、ピクチャーモードがユーザー設定 1 またはユーザー設定 2 に設定されているときに使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>設定の読み込み</b>：必要な画質に最も合った画像モードを選択します。また、開始ポイントとして下にリストされる選択肢に基づいて画像を調整することができます。</li> <li>• <b>ユーザーモード名変更</b>：カスタマイズされた画像モードに別名を付けます (<b>ユーザー設定 1</b> または <b>ユーザー設定 2</b>)。名前はアルファベット (A-Z、a-z)、数字 (0-9)、スペース ( ) を使って 9 文字で設定することができます。</li> </ul>
明るさ	<p>画像の輝度を調整します。画像の暗部が暗すぎて見えない場合に調整します。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">    </div> <p>値を上げると画像が明るくなり、値を下げると画像が暗くなります。</p>
コントラスト	<p>画像の明るさと暗さの差を調整します。<b>明るさ</b>値を調整した後は、<b>コントラスト</b>を調整してピークのホワイトレベルを設定してください。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">    </div> <p>値を高くするほどコントラストが増加します。</p>
色の濃さ	<p>彩度レベル—ビデオ映像の各色の量を調整します。設定値を低くすると色の飽和レベルが低くなり、最低値に設定するとモノクロ画像になります。</p> <p>逆に値を上げすぎると、画像の色が不自然に強調されてしまいます。</p>
色合い	<p>画像の赤と緑を調整します。</p> <p>値を高くするほど赤みがかった画像になります。値を低くするほど緑がかった画像になります。</p>

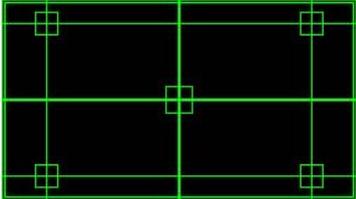
サブメニュー	機能と説明
<b>シャープネス</b>	<p>画像がシャープまたはソフトになるように調整します。</p>  <p>値を高くするほど画像がシャープになります。値を低くするほど画像が柔らかくなります。</p>
<b>詳細設定</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>ガンマの選択</b> ガンマとは、入力源と画像の輝度との関係性のことです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>2.2</b>：標準のガンマ値です。</li> <li>• <b>1.8/2.0/2.1/2.3/2.4/2.6</b>：値が高くなるほど、画像は暗くなります。</li> <li>• <b>コントラスト優先</b>：標準設定と比べてコントラストを強調します。</li> <li>• <b>輝度優先</b>：標準設定と比べて明るさを強調します。</li> <li>• <b>HLG</b>：ハイブリッド ログガンマ コンテンツ向けです。</li> </ul> </li> <li>• <b>色温度</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>プリセット</b>：色温度のプリセットがいくつかあります。選択できる設定は、選択した信号タイプによって異なります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- <b>高</b>：青みがかった画像になります。</li> <li>- <b>ノーマル</b>：白の色合いを通常に保ちます。</li> <li>- <b>低</b>：赤みがかった画像になります。</li> </ul> </li> </ul> <p>次のオプションを調整すると、色温度も設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>赤ゲイン/緑ゲイン/青ゲイン</b>：赤、緑、青のコントラスト レベルを調整します。</li> <li>• <b>赤オフセット/緑オフセット/青オフセット</b>：赤、緑、青の明るさ レベルを調整します。</li> </ul> </li> </ul>
<p> <b>HLG コンテンツを表示する場合は</b>  <b>ユーザー設定 2 初期設定は HLG コンテンツに適します。</b>  <b>HLG (ハイブリッド ログガンマ) コンテンツを表示する場合は、ピクチャモードから「ユーザー設定 2」を選択することをお勧めします。</b></p>	

サブメニュー	機能と説明
<p>詳細設定</p>	<p>• <b>3D カラーマネージメント</b></p> <p>6色 (RGBCMY) を調整することができます。調整したい色を選択し色域や彩度を調整してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>OK を押すと <b>3D カラーマネージメント</b>画面が表示されます。</li> <li><b>原色</b> を選択し、◀/▶ を押して <b>R</b> (赤)、<b>G</b> (緑)、<b>B</b> (青)、<b>C</b> (シアン)、<b>M</b> (マゼンタ)、<b>Y</b> (黄) の中から色を選択します。</li> <li>▼ を押して、<b>色相</b> を選択し、次に ◀/▶ を押してその範囲を選択してください。範囲を広げると、隣り合う2色のより広い範囲の色が含まれます。</li> </ol>  <p>次の図は、色が互いに関係する様子を示しています。</p> <p>例えば、<b>R</b> を選択し、その範囲を0に設定すると、純粋な赤のみが選択されます。その範囲を広げると、黄色に近い赤とマゼンタに近い赤の両方が含まれます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>▼ を押して、<b>ゲイン</b> を選択し、次に ◀/▶ を押してその値を調整してください。選択した原色のコントラストレベルに影響します。調整内容は直ちに画像に反映されます。</li> <li>▼ を押して、<b>彩度*</b> を選択し、次に ◀/▶ を押してその値を調整してください。調整内容は直ちに画像に反映されます。</li> <li>すべての調整が終わるまで、ステップ2から5を繰り返してください。</li> <li>完了したら、<b>BACK</b> を押して終了してください。</li> </ol> <p>* 彩度について</p> <p>映像の色の鮮やかさを調整します。値を低くすると彩度が低くなります。「0」に設定すると、画像から完全に色を抜いてしまいます。彩度が高すぎると、色が濃すぎて非現実的な色になってしまいます。</p>
	<p>• <b>MoviePro</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>カラーエンハンス</b>：映像の彩度を独自のアルゴリズムを用いてバランスを取りながら調整する機能です。鮮やかな色、美しいグラデーションを再現します。</li> <li><b>スキントーン</b>：映像の中の人肌（スキントーン）に特化して調整できる機能です。好みのスキントーンに簡単に調整が可能です。</li> <li><b>超解像</b>：独自のアルゴリズムを用いた超解像度技術です。映像の解像感を飛躍的に高めます。</li> </ul> <p>• <b>自動アパーチャ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>オフ</b>：自動アパーチャ機能をオフにします。</li> <li><b>低</b>：アパーチャは限られた範囲で動作します。</li> <li><b>高</b>：最大の範囲でよりダイナミックに動作します。</li> </ul>
<p>現在のピクチャーモードをリセット</p>	<p>選択したピクチャーモード（プリセットモード、ユーザー設定1、ユーザー設定2を含みます）に対して行ったすべての調整を初期値に戻します。</p>

# 表示メニュー

サブメニュー	機能と説明
<p>アスペクト比</p>	<p>☞ 下の図では黒い部分が無効になったエリアで、白い部分が有効なエリアです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> <p><b>自動</b></p>  <p>15:9 画像</p> <p>画像をプロジェクターのネイティブの解像度の水平幅または垂直高に合わせて表示します。スクリーンが最大限に使用され、画像の縦横比が維持されます。</p> </li> <li> <p><b>4:3</b></p>  <p>4:3 画像</p> <p>スクリーンの中央が 4:3 の縦横比になるように画像を調整します。</p> </li> <li> <p><b>16:9</b></p>  <p>16:9 画像</p> <p>スクリーンの中央が 16:9 の縦横比になるように画像を調整します。</p> </li> <li> <p><b>16:10</b></p>  <p>16:10 画像</p> <p>スクリーンの中央が 16:10 の縦横比になるように画像を調整します。</p> </li> </ul>
<p>イメージの位置</p>	<p>イメージの位置画面が開きます。プロジェクターリモコンの矢印キーを使って、投写画像の位置を調整します。</p> <p>キーを押すたびに、画面の下の方に表示される値が変わります。</p> <p>☞ この機能は PC 信号が選択されている場合にしか使用できません。</p>
<p>オーバースキャン</p>	<p>画面が見切れる 4 辺の量を調整します。</p> <p>値を上げるほど画面は大きくなり、見切れる 4 辺の範囲が増えます。「0」に設定すると見切れる範囲が無くなり、全ての画像が表示されます。</p>
<p>位相</p>	<p>クロック位相を調整して画像の歪みを縮減します。</p> <p>☞ この機能は PC 信号が選択されている場合にしか使用できません。</p>
<p>水平サイズ</p>	<p>画像の幅を調整します。</p> <p>☞ この機能は PC 信号が選択されている場合にしか使用できません。</p>
<p>e-shift</p>	<p>ディスプレイの解像度を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> <p><b>オフ</b>：2K 解像度に切り替えます。</p> <p>☞ ピクチャーモード は自動的に固定モードに設定されます。</p> </li> <li> <p><b>オン (推奨)</b>：4K 解像度に切り替えます。</p> </li> </ul>

## 設置メニュー

サブメニュー	機能と説明
プロジェクターモード	詳細は、「場所の選択」を参照してください。
テストパターン	<p>これは画像サイズとフォーカスを調整し、投写画像に歪みがないことを確認するのに役立ちます。テストパターンを閉じるには、このメニューに戻りオフを選択します。</p> 
ランプ設定	<ul style="list-style-type: none"> <li> <b>ランプモード</b>                      プロジェクターのランプの電源モードを切り替えます。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>ノーマル：ランプを完全に明るくします。</li> <li>Eco：システムノイズと電力消費量を 30% 低減することができます。</li> </ul>                     Eco モードを有効にすると、出力されるライトが低減され、その結果投写画像が暗くなります。詳細は、「ランプモードの設定」を参照してください。                 </li> <li> <b>ランプタイマーをリセット</b>                      この機能は新しいランプが装着された後に使用できるようになります。リセットを選択すると、「リセットしました。」というメッセージが表示されてランプ時間が「0」にリセットされます。                 </li> <li> <b>ランプ情報</b>                      プロジェクタに内蔵されたタイマーがランプの使用時間（時間単位）を自動的に計算します。                 </li> </ul>
12V トリガー	<p>インストール状況に応じて機能する 12V トリガーが 1 つあります。選択肢は 2 つあります：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オフ：これを選択すると、プロジェクターの電源を入れたとき電子信号が送信されません。</li> <li>オン：プロジェクターの電源が入っているときには低い電子信号から高い電子信号を送信し、電源が入っていないときには高い電子信号から低い電子信号を送信します。</li> </ul>
高地モード	<p>高地や温度が高い場所で使用するときのモードです。海拔 1500 m ~ 3000 m、気温 0°C ~ 30°C の環境で本製品を使用する場合は、この機能を使用されるようお勧めします。</p> <p><b>高地モード</b>を選択した場合は、システムの性能を維持するために冷却ファンが回転速度を速めるために操作ノイズが高くなる場合があります。</p> <p>上記の場合を除き、それ以外の極限環境でプロジェクターを使用すると、プロジェクターが自動的にシャットダウンする場合があります。これはプロジェクターを過熱から保護するために施された機能です。このような場合は、<b>高地モード</b>に切り替えてこのような現象を解決してみてください。ただし、これはこのプロジェクターが極限状態でも操作可能であるということを保証するものではありません。</p>

## システム設定：基本メニュー

サブメニュー	機能と説明
言語	オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの言語を設定します。
背景色	プロジェクターの背景色を設定します。
起動画面	プロジェクター起動時に表示されるロゴ画面を、ユーザーが選択することができます。 <b>JVC</b> ロゴスクリーン、 <b>ブルースクリーン</b> 、または <b>黒スクリーン</b> のいずれかを選択できます。
オートパワーオフ	長時間信号が何も検出されなければ、投写を停止します。詳細は、「 <b>オートパワーオフの設定</b> 」を参照してください。
ダイレクトパワーオン	電源コードを接続して電源供給を行うと、プロジェクターが自動的にオンになります。
メニュー設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>メニュー位置</b> OSD メニューの位置を選択します。</li> <li>• <b>メニュー表示時間</b> 最後にキーを押してからの OSD の表示時間を設定します。</li> <li>• <b>アラームメッセージ</b> リマインダーをオンまたはオフにします。</li> </ul>
入力名変更	現在の入力ソースの名前を別の名前に変更します。ページで ▲/▼/◀/▶ および <b>OK</b> を使って接続した入力源の特性を設定します。
自動入力サーチ	プロジェクターで自動的に入力ソースを検索するかどうかを設定します。 <b>オン</b> を選択して、プロジェクターが入力ソースをスキャンできるようにしてください。この機能が <b>オフ</b> になっている場合は、最後に使用した入力ソースが選択されます。

## システム設定：詳細メニュー

サブメニュー	機能と説明
HDR	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>HDR</b> 本機は、HDR 入力源に対応しています。これは入力源のダイナミックレンジを自動的に検出し、広範囲の照明状況で映像を再現できるように設定を最適化します。入力源がダイナミックレンジで定義されない場合は、手動で <b>HDR</b> か <b>SDR</b> を選択することもできます。</li> <li>• <b>EOTF</b> プロジェクターは、入力源に応じて映像の輝度レベルを自動調整できます。画質を高めるためには、手動で調整することも可能です。値を上げると、映像が明るくなります。逆に値を下げると、映像は暗くなります。</li> </ul>
HDMI 設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>オート</b>：入力信号の HDMI 範囲を自動検出するようにプロジェクターを設定します。</li> <li>• <b>エンハンス</b>：HDMI 色域を 0 - 255 に設定します。</li> <li>• <b>スタンダード</b>：HDMI 色域を 16 - 235 に設定します。</li> </ul>

サブメニュー	機能と説明
パスワード	<p>セキュリティを高め、不正使用を防止するためにパスワードを設定することができます。パスワードを知っているユーザーのみプロジェクターを操作できるようにします。パスワード入力を続けて5回間違えると、プロジェクターは間もなく自動的にシャットダウンします。</p> <p> 設定したパスワードは書き留めて、安全な場所に保管してください。設定したパスワードを忘れてしまうと、プロジェクターを起動できなくなります。</p> <p>まだパスワードを設定していない場合は、新しいパスワード設定するよう要求されます。画面に示す通り、4つの矢印キー（▲/▶/▼/◀）はそれぞれ4つの数字（1、2、3、4）を示しています。矢印キーを使って6桁のパスワードを設定してください。数字を入力すると、*****のようにアスタリスクで表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>パスワードの変更</b> 新しいパスワードに変更する前に、現在のパスワードを入力するよう要求されます。</li> <li>• <b>パワーオンロック</b> 設定を変更する前に、現在のパスワードを入力するよう要求されます。</li> </ul> <p> 一度パスワードを設定して電源オンロックを有効にすると、プロジェクターを起動するたびに正しいパスワードを入力しなければプロジェクターを使用することはできなくなります。</p> <p> パスワードを忘れた場合は、次の手順にしたがってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. パスワードエラーメッセージが表示されたら、OKを3秒間押しします。画面にコード化された数字が表示されます。</li> <li>2. その数字をメモしてプロジェクターの電源を切ります。</li> <li>3. お近くのJVCサービスセンターに問い合わせることでコード化を解除してもらってください。プロジェクターの正当な使用者であることを証明するために、購入時のレシートを提示していただく場合があります。</li> </ol>
パネル キー ロック	<p>プロジェクターのコントロールキーをロックしておくと、（例えばお子様によって）プロジェクターの設定が誤って変更されるのを防止することができます。</p> <p>オンを選択してこの機能を有効にすると、 電源を除き、プロジェクターの全コントロールキーが作動しなくなります。</p> <p>キーをロック解除するには、プロジェクターで3秒間▶を押してください。または、リモコンのオフを押してください。</p> <p> この機能にはリモコンまたはキーパッドからアクセスできます。</p>
全設定をリセット	<p>すべての設定を工場出荷時の値に戻します。</p> <p> 次の設定は現在の設定値のまま維持されます：言語、プロジェクターモード、高地モード、パスワード。</p>

## 情報メニュー

サブメニュー	機能と説明
入力	現在の信号ソースが表示されます。
ピクチャーモード	ピクチャーメニューの現在のピクチャーモードが表示されます。
解像度	入力ソースの解像度が表示されます。
カラー システム	入力システムフォーマットが表示されます。
ランプ使用時間	ランプの使用時間数が表示されます。
ファームウェアバージョン	プロジェクターのファームウェアバージョンが表示されます。

☞ 一部の情報は、特定の入力ソースでしか表示されません。

# OSD メニューの構造

OSD メニューは、選択した入力タイプによって異なります。

メインメニュー	サブメニュー	オプション	
ピクチャー	ピクチャーモード	ナチュラル / シネマ / ダイナミック / ユーザー設定 1 / ユーザー設定 2	
	ユーザーモード設定	設定の読み込み	ナチュラル / シネマ / ダイナミック / ユーザー設定 1 / ユーザー設定 2
		ユーザー モード名変更	
	明るさ		
	コントラスト		
	色の濃さ		
	色合い		
	シャープネス		
		ガンマの選択	1.8/2.0/2.1/2.2/2.3/2.4/2.6 / コントラスト優先 / 輝度優先 / HLG
			プリセット
			赤ゲイン
			緑ゲイン
		色温度	青ゲイン
			赤オフセット
			緑オフセット
詳細設定		青オフセット	
		原色	
		色相	
	3D カラーマネージメント		ゲイン
			彩度
		カラーエンハンス	
	MoviePro		スキントーン
			超解像
		自動アパーチャ	オフ / 低 / 高
		現在のピクチャーモードをリセット	
表示	アスペクト比	自動 / 4:3/16:9/16:10	
	イメージの位置		
	オーバースキャン	0-3	
	位相		
	水平サイズ		
	e-shift	オフ / オン	
設置	プロジェクターモード	フロント投映 / リア投映 / 天吊正面 / 天吊背面	
	テストパターン	オフ / オン	
		ランプモード	ノーマル / Eco
	ランプ設定	ランプ タイマーをリセット	リセット / キャンセル
		ランプ情報	ランプ使用時間
	12V トリガー	オフ / オン	
	高地モード	オン / オフ	

メインメニュー	サブメニュー	オプション	
システム設定： 基本	言語	English/Français/Deutsch/ Italiano/Español/Русский/ 繁體中文/简体中文/日本語/ Svenska/Türkçe/Čeština/Português Norsk/Nederlands/Polski	
	背景色	緑/黒/青	
	起動画面	黒/青/JVC	
	オートパワーオフ	無効/5分/10分/15分/20分/25分/30分	
	ダイレクトパワーオン	オフ/オン	
	メニュー設定	メニュー位置	中央/左上/右上/右下/左下
		メニュー表示時間	常にオン/5秒/10秒/15秒/20秒/25秒/ 30秒
		アラームメッセージ	オフ/オン
	入力名変更		
	自動入力サーチ	オフ/オン	
システム設定： 詳細	HDR	自動/SDR	
	EOTF	低/中/高	
	HDMI 設定	オート/スタンダード/エンハンス	
	パスワード	パスワードの変更	
		パワーオンロック	オン/オフ
	パネル キー ロック	オフ/オン	
	全設定をリセット	リセット/キャンセル	
情報	入力		
	ピクチャーモード		
	解像度		
	カラー システム		
	ランプ使用時間		
ファームウェアバージョン			

# メンテナンス

## プロジェクターのお手入れ

### レンズのクリーニング

表面に汚れやほこりが付いていたら、レンズのお手入れが必要です。

プロジェクターのパーツをお手入れされる前に、正しい手順でシャットダウンして電源を切り（詳細は、「[プロジェクターの終了](#)」を参照してください）、電源ケーブルを抜いてください。その後、完全に冷却させてください。

- 圧縮空気スプレーを使ってほこりを取り除いてください。
- 汚れやしみが付いた場合は、レンズクリーニングペーパーまたはレンズクリーナーで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭きます。
- 研磨用パッド、アルカリ性/酸性クレンザー、研磨剤入りパウダー、揮発性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤）などは一切ご使用にならないでください。ゴムやビニール部分にこのような素材を使用したり、長期間これらを接触したままの状態にしておくと、プロジェクターの表面やキャビネットの素材を傷つける場合があります。

☞ レンズは絶対に指で触れたり、研磨剤を使用したり、こすったりしないでください。ペーパータオルでもレンズのコーティングがはがれる場合があります。適切なカメラレンズブラシ、布、クリーニング液だけを使用するようにしてください。プロジェクターがオンのとき、またはまだ熱を持っているときにレンズのクリーニングを行わないでください。

### プロジェクター ケースのお手入れ

プロジェクターのパーツをお手入れされる前に、正しい手順でシャットダウンして電源を切り（詳細は、「[プロジェクターの終了](#)」を参照してください）、電源ケーブルを抜いてください。その後、完全に冷却させてください。

- ほこりや汚れを取り除くには、乾燥した柔らかい、けば立ちのない布で拭きます。
- 落ちにくい汚れやしみを取り除くには、水で薄めた中性洗剤で布を湿らせて、ケースを拭きます。

☞ ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。こうした薬剤を使用すると、ケースを傷める場合があります。

### プロジェクターの保管

長期間プロジェクターを保管する場合：

- 保管場所の温度と湿度が、プロジェクターの推奨範囲内であることを確認します。詳細は、「[仕様](#)」を参照されるか、販売店にお尋ねください。
- 調整脚をおさめます。
- リモコンから電池を取り外します。
- プロジェクターを元の梱包または同等の梱包にしまします。

### プロジェクターの移動

プロジェクターを搬送するときは、元の梱包または同等の梱包で行うことを推奨します。

# ランプについて

## ランプ時間を知るには

プロジェクターが作動している間、プロジェクターに内蔵されたタイマーがランプの使用時間（時間単位）を自動的に計算します。

ランプ時間を確認する：

1. **MENU** を押します。
2. 矢印キー（◀/▶/▲/▼）を使って**情報**を開くか、**設置 > ランプ設定 > ランプ情報**メニューを開きます。
3. **ランプ使用時間**情報が表示されます。
4. **MENU** を押して終了します。

## ランプ寿命を延長する

投写ランプは消費アイテムです。ランプの寿命をできるだけ長く維持するには、OSDメニューで次の設定を行ってください。

OSDメニューにアクセスする手順については、「[OSDメニューの使用方法](#)」を参照してください。

## ランプモードの設定

プロジェクターをEcoモードで使用すると、ランプの寿命を延長することができます。

1. **設置 > ランプ設定 > ランプモード**を選択します。
2. ◀/▶ を押して任意のモードを選択したら、**OK** を押します。
3. 完了したら、**MENU** を押して変更内容を保存し、終了します。

## オートパワーオフの設定

指定した時間を経過しても入力ソースが検出されないときに、自動的にプロジェクターの電源をオフにします。

1. **システム設定：基本 > オートパワーオフ**を選択します。
2. ◀/▶ を押して時間を選択します。プリセット時間の長さがプレゼンテーションに合わない場合は、**無効**を選択すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンしません。
3. 完了したら、**MENU** を押して変更内容を保存し、終了します。

## ランプを交換する時期

ランプインジケータ ライトが赤に点灯した場合、またはランプの交換時期であることを示すメッセージが表示された場合は、新しいランプを取り付けるか、お買い上げの販売店にご相談ください。古いランプを使用すると、プロジェクターの誤動作の原因となり、ランプが破裂することもあります。

ランプの温度が異常に高くなると、LAMP（ランプインジケータライト）および TEMP（温度警告ライト）が点灯します。この場合は、電源をオフにして 45 分間ほど放置し、プロジェクターを常温に戻してください。このようにしても電源をオンにしたときに LAMP または TEMP インジケータライトが点灯する場合は、販売店にご相談ください。詳細は、「インジケータ」を参照してください。

次のランプ警告が表示されたら、ランプを交換してください。

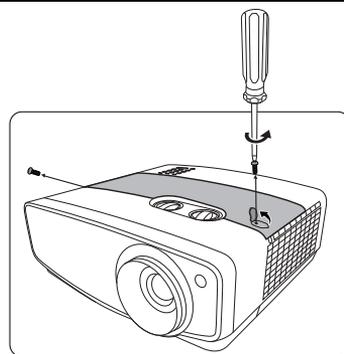
☞ 下の図は参照用であり、実際の仕様とは異なる場合があります。

状態	メッセージ
<p>ランプの動作時間が 3500 時間を超えました。動作を最適化するために、新しいランプを取り付けてください。通常プロジェクターを Eco モードで起動している場合は（「ランプ時間を知るには」を参照してください）、3950 時間のランプ警告メッセージが表示されるまでプロジェクターを使用することができます。</p>	<p><b>注意</b></p> <p><b>予備ランプを準備</b></p> <p>ランプ &gt; 3500 時間</p> <p>OK</p>
<p>ランプの動作時間が 3950 時間を超えました。ランプの動作時間が警告された時間を超えたら、事故が起きないように新しいランプに交換してください。</p>	<p><b>注意</b></p> <p><b>間もなくランプ交換</b></p> <p>ランプ &gt; 3950 時間</p> <p>OK</p>
<p>ランプの動作時間が 4000 時間を超えました。</p> <p>この時点でランプを交換されるよう強くお勧めします。</p> <p> ランプは消費アイテムです。ランプは使用を重ねる毎に明るさが徐々に失われます。これは正常な状態です。ランプが非常に暗くなったら、いつでもランプを交換してください。ランプの使用時間が 4000 時間を超えたらランプを交換してください。</p>	<p><b>注意</b></p> <p><b>今すぐランプ交換</b></p> <p>ランプ &gt; 4000 時間</p> <p>OK</p>
<p>プロジェクターを正常に動作させるには、ランプを交換してください。</p>	<p><b>注意</b></p> <p><b>ランプ使用時間が経過しました。</b></p> <p>ランプを交換（説明書を参照）次にランプタイマーをリセットしてください。</p> <p>OK</p>

## ランプの交換

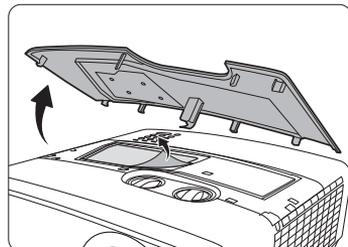
- ⚠ 感電を防ぐため、ランプを交換する前には必ずプロジェクターの電源をオフにし、電源ケーブルを抜いてください。
- 重度のやけどを負う危険を防ぐため、ランプを交換する前に、最低でも 45 分間はプロジェクターを冷却してください。
- 割れて鋭くなったランプのガラス片を取り除く場合は、指をけがしたり、内部部品を破損したりしないように、十分注意してください。
- 指のけがや、レンズに触れることによる画質の劣化を避けるため、ランプを取り外すときに空のランプケースには触れないでください。
- このランプの中には水銀が入っています。ランプの処分は、地元の有害廃棄物規制条例にしたがって、正しい方法で行ってください。
- プロジェクターを最高の状態でご使用いただくために、交換用ランプとして指定されたプロジェクター用ランプを購入されることをお勧めします。
- 破損したランプを処理するときには、部屋の換気をしっかりと行ってください。マスク、防護メガネ、ゴーグル、またはフェイスシールドを着用になり、手袋など身体を保護するものも着用することをお勧めします。

- 電源をオフにして、プロジェクターをコンセントから抜きます。ランプが熱すぎるときには、ランプが冷却されるまで約 45 分間待ってください。
- ピンセットを使ってランプカバーについているネジキャップを外します。ランプカバーをプロジェクターの側面と上部から固定しているネジを緩めます。

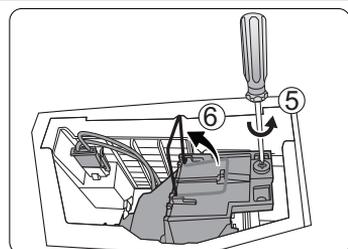


- プロジェクターからランプカバーを外します。
- 新しいフィルムを同じ場所に貼るために、ランプ保護フィルムの位置を確認してください。その後で、ランプの保護フィルムをはがして破棄してください。

- ⚠ ランプカバーを外した状態で電源を入れないでください。
- ランプとプロジェクターの間に指を入れると、プロジェクター内部の鋭利なパーツでケガをする場合がありますのでご注意ください。



- ランプを固定しているネジを緩めます。
- ハンドルを持ち上げます。

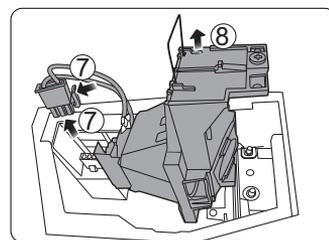


7. プロジェクターからランプ コネクタを外します。

8. ハンドルを使ってゆっくりとランプをプロジェクターから引き出します。



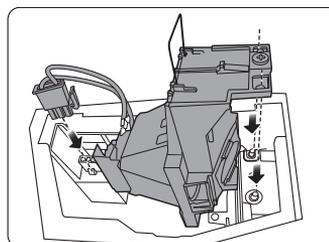
- 急激に引っ張るとランプが割れ、ガラスの破片がプロジェクター内に散乱します。
- 取り出したランプは水のかかる場所、子供の手が届く場所、可燃物の付近には置かないでください。
- ランプを取り出す際は、プロジェクター内に手を入れないでください。内部の光学コンポーネントに手を触れると、色が均等に表示されなくなったり、投写画像が歪んだりする場合があります。



9. 図に示す通り、新しいランプを下ろしてください（交換用ランプ：PK-L2417U）。



ランプの下部にある突起をプロジェクター内部の孔に確実に挿入してください。正しく挿入されていない場合は、輝度の低下や機器の破損の原因となることがあります。



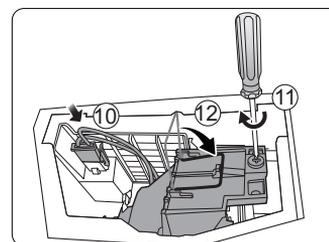
10. ランプコネクタを挿入します。

11. ランプを固定するネジを締めます。

12. ハンドルをフラットに倒して、しっかりとロックしてください。

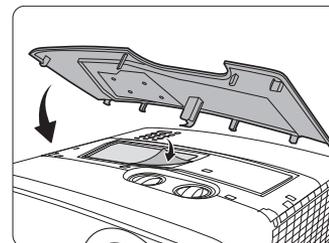


- ネジの締め方がゆるいと接触が悪くなり、故障の原因になる場合があります。
- ネジは締めすぎないでください。



13. ランプ保護フィルムを外します。

14. プロジェクターにランプ カバーを戻します。

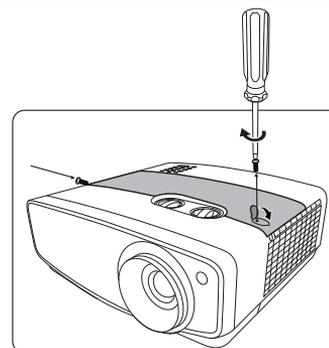


15. ランプカバーを固定しているネジを締めます。

16. ネジキャップを元に戻します。



- ネジの締め方がゆるいと接触が悪くなり、故障の原因になる場合があります。
- ネジは締めすぎないでください。



17. 電源を接続し、プロジェクターを再起動します。

18. スタートアップ ロゴが表示されたら、OSD メニューからランプタイマーをリセットしてください。

⚠ ランプを交換していない場合はリセットしないでください。ランプが破損する恐れがあります。

「リセットしました。」というメッセージが表示されてランプ時間が「0」にリセットされます。

## インジケータ

プロジェクターの状態を示すインジケータライトは 3 個あります。インジケータライトについては、次の情報を参照してください。問題がある場合はプロジェクターの電源を切り、販売店にお問い合わせください。

ライト			状態と説明
LAMP	TEMP	POWER	
<b>電源の状況</b>			
オフ	オフ	オレンジ色	スタンバイ モードです
オフ	オフ	緑点滅	電源を入れています
オフ	オフ	緑	通常動作状態です
オフ	オフ	オレンジ色点滅	通常の電源オフ冷却
赤点滅	赤点滅	赤点滅	ダウンロード中
赤	オフ	緑	CW スタート失敗
赤点滅	オフ	緑	CW スピン失敗
赤	オフ	赤	スケーラーのシャットダウン失敗（データ中止）
オフ	オフ	緑	書き込みオン
緑	緑	緑	書き込みオフ
<b>ランプの状況</b>			
赤	オフ	オフ	通常動作時にランプ エラー発生
オレンジ色点滅	オフ	オフ	ランプが点灯していません
オレンジ色	オフ	緑	ランプ切れ
<b>温度の状況</b>			
オフ	赤	赤	ファン 1 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
オフ	赤点滅	赤	ファン 2 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
オフ	緑	赤	ファン 3 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
オフ	緑点滅	赤	ファン 4 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
オフ	赤	赤点滅	ファン 5 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
オフ	赤	緑	温度 1 エラー（上限温度オーバー）

# 問題を解決する

問題	原因	対応
プロジェクターの電源がオンにならない。	電源コードから電源が来ていません。	電源コードをプロジェクターの電源コードソケットとコンセントに差し込みます。コンセントにスイッチがある場合は、スイッチがオンになっているかを確認してください。
	冷却プロセスの間にプロジェクターの電源をオンにしようとしています。	冷却プロセスが完了するまでお待ちください。
	ランプカバーがしっかり装着されていません。	ランプカバーを正しく装着しなおしてください。
画像が映らない。	ビデオソースがオンになっていないか、正しく接続されていません。	ビデオソースをオンにし、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
	プロジェクターが正しく入力ソース機器に接続されていません。	接続を確認します。
	入力ソースが正しく選択されていません。	プロジェクターまたはリモコンの <b>INPUT</b> キーで正しい信号を選択してください。
イメージが不安定です。	接続ケーブルがプロジェクターまたは信号ソースにしっかりと接続されていません。	ケーブルを適切な端末に正しく接続します。
イメージがぼやける。	投写レンズの焦点が合っていません。	フォーカスリングで焦点を合わせてください。
	プロジェクターとスクリーンの位置が正しく合っていません。	投写角度および方向、また必要であればプロジェクターの高さを調整します。
	レンズカバーが閉じられたままです。(該当する場合)	レンズカバーを外してください。(該当する場合)
リモコンが機能しない。	電池が切れています。	新しい電池に交換します。
	リモコンとプロジェクターの間に障害物があります。	障害物を取り除いてください。
	プロジェクターからの距離が遠すぎます。	プロジェクターから 8 メートル (26.2 フィート) 以内の場所に立ちます。

# 仕様

## プロジェクターの仕様

☞仕様はすべて予告なしに変更されることがあります。

### 光学仕様

解像度

3840 x 2160

ディスプレイ システム

シングルチップ DLP™ システム

レンズ

F = 1.809、f = 14.3 ~ 22.9 mm

ランプ

240 W ランプ

### 電気仕様

電源

AC100V~4.5 A、50-60 Hz (自動)

電力消費量

370 W (最大) ; < 0.5 W (スタンバイ) ;

### 出力端子

12VDC (最大 0.1 A) x 1

DC 5V 出力 (最大 1.5 A) x 1

### 操作

RS-232 シリアル コントロール

9 ピン x 1

IR 受信機 x 2

USB Mini-B x 1

### 入力端子

コンピュータ入力

RGB 入力

D-Sub 15 ピン (メス) x 1

ビデオ信号入力

SD/HDTV 信号入力

デジタル - HDMI x 2

### 環境要件

動作温度範囲

0°C ~ 40°C (海拔)

動作相対湿度

10%~90% (結露なきこと)

動作高度

0~1499 m (0°C~35°C)

1500~3000 m (0°C~30°C のとき、

高地対応モードオン)

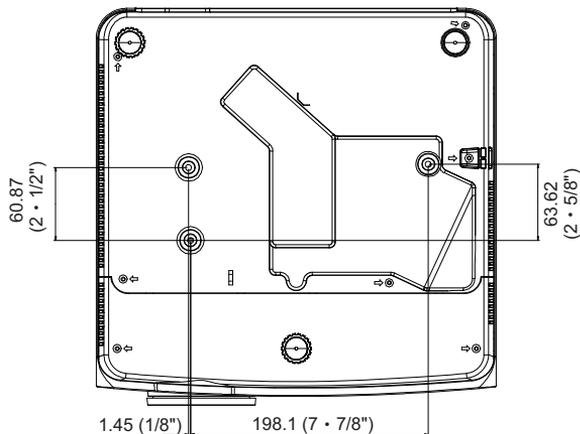
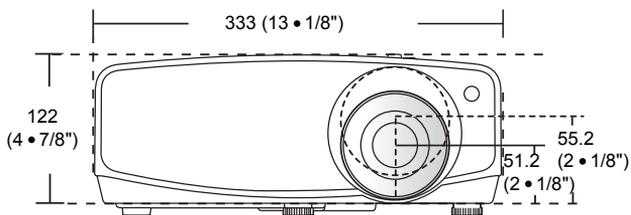
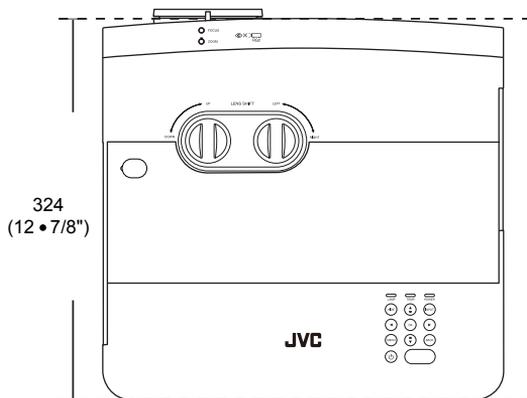
### 重量

4.8 Kg (10.56 lbs)

# 外形寸法

333 mm x 324 mm x 122 mm (13・1/8" x 12・7/8" x 4・7/8") (W x D x H)

単位：mm (インチ)



天井取り付けネジ：M4  
 最長 = 25 mm、最短 = 20 mm  
 (最長 = 1" ; 最短 = 7/8")

# タイミングチャート

## サポートされる PC 入力のタイミング

フォーマット	解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル周波数 (MHz)
720 x 400	720 x 400_70	70.087	31.469	28.3221
640 x 480	VGA_60	59.940	31.469	25.175
	VGA_72	72.809	37.861	31.500
	VGA_75	75.000	37.500	31.500
	VGA_85	85.008	43.269	36.000
800 x 600	SVGA_60	60.317	37.879	40.000
	SVGA_72	72.188	48.077	50.000
	SVGA_75	75.000	46.875	49.500
	SVGA_85	85.061	53.674	56.250
	SVGA_120 (リデュースド ブランキング)	119.854	77.425	83.000
1024 x 768	XGA_60	60.004	48.363	65.000
	XGA_70	70.069	56.476	75.000
	XGA_75	75.029	60.023	78.750
	XGA_85	84.997	68.667	94.500
	XGA_120 (リデュースド ブランキング)	119.989	97.551	115.500
1152 x 864	1152 x 864_75	75.00	67.500	108.000
1280 x 720	1280 x 720_60	60	45.000	74.250
	1280 x 720_120	120	90.000	148.500
1280 x 768	1280 x 768_60 (リデュースド ブランキング)	60	47.396	68.25
	1280 x 768_60	59.870	47.776	79.5
1280 x 800	WXGA_60	59.810	49.702	83.500
	WXGA_75	74.934	62.795	106.500
	WXGA_85	84.880	71.554	122.500
	WXGA_120 (リデュースド ブランキング)	119.909	101.563	146.25

1280 x 1024	SXGA_60	60.020	63.981	108.000
	SXGA_75	75.025	79.976	135.000
	SXGA_85	85.024	91.146	157.500
1280 x 960	1280 x 960_60	60.000	60.000	108
	1280 x 960_85	85.002	85.938	148.500
1360 x 768	1360 x 768_60	60.015	47.712	85.500
1440 x 900	WXGA+_60 (リデュースド ブランキング)	60	55.469	88.75
	WXGA+_60	59.887	55.935	106.500
1400 x 1050	SXGA+_60	59.978	65.317	121.750
1600 x 1200	UXGA	60.000	75.000	162.000
1680 x 1050	1680 x 1050_60 (リデュースド ブランキング)	59.883	64.674	119.000
	1680 x 1050_60	59.954	65.290	146.250
640 x 480@67Hz	MAC13	66.667	35.000	30.240
832 x 624@75Hz	MAC16	74.546	49.722	57.280
1024 x 768@75Hz	MAC19	74.93	60.241	80.000
1152 x 870@75Hz	MAC21	75.06	68.68	100.00
1920 x 1080@60Hz	1920 x 1080_60 (リデュースド ブランキング)	60	67.5	148.5
1920 x 1200@60Hz	1920 x 1200_60 (リデュースド ブランキング)	59.95	74.038	154

☞ 上記のタイミングは、EDID ファイルと VGA グラフィック カードの制限により、サポートされない場合があります。一部のタイミングを選択できない場合もあります。

## サポートされる HDMI (HDCP) 入力のタイミング

フォーマット	解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル周波数 (MHz)
640 x 480	VGA_60	59.940	31.469	25.175
	VGA_72	72.809	37.861	31.500
	VGA_75	75.000	37.500	31.500
	VGA_85	85.008	43.269	36.000
720 x 400	720 x 400_70	70.087	31.469	28.3221
800 x 600	SVGA_60	60.317	37.879	40.000
	SVGA_72	72.188	48.077	50.000
	SVGA_75	75.000	46.875	49.500
	SVGA_85	85.061	53.674	56.250
	SVGA_120 (リデュースド ブランキング)	119.854	77.425	83.000
1024 x 768	XGA_60	60.004	48.363	65.000
	XGA_70	70.069	56.476	75.000
	XGA_75	75.029	60.023	78.750
	XGA_85	84.997	68.667	94.500
	XGA_120 (リデュースド ブランキング)	119.989	97.551	115.500
1152 x 864	1152 x 864_75	75.00	67.500	108.000
1280 x 720	1280 x 720_60	60	45.000	74.250
	1280 x 720_120	120	90.000	148.500
1280 x 768	1280 x 768_60 (リデュースド ブランキング)	60	47.396	68.25
	1280 x 768_60	59.870	47.776	79.5
1280 x 800	WXGA_60	59.810	49.702	83.500
	WXGA_75	74.934	62.795	106.500
	WXGA_85	84.880	71.554	122.500
	WXGA_120 (リデュースド ブランキング)	119.909	101.563	146.25

1280 x 1024	SXGA_60	60.020	63.981	108.000
	SXGA_75	75.025	79.976	135.000
	SXGA_85	85.024	91.146	157.500
1280 x 960	1280 x 960_60	60.000	60.000	108
	1280 x 960_85	85.002	85.938	148.500
1360 x 768	1360 x 768_60	60.015	47.712	85.500
1440 x 900	WXGA+_60 (リデュースド ブランキング)	60	55.469	88.75
	WXGA+_60	59.887	55.935	106.500
1400 x 1050	SXGA+_60	59.978	65.317	121.750
1600 x 1200	UXGA	60.000	75.000	162.000
1680 x 1050	1680 x 1050_60 (リデュースド ブランキング)	59.883	64.674	119.000
	1680 x 1050_60	59.954	65.290	146.250
640 x 480@67Hz	MAC13	66.667	35.000	30.240
832 x 624@75Hz	MAC16	74.546	49.722	57.280
1024 x 768@75Hz	MAC19	75.020	60.241	80.000
1152 x 870@75Hz	MAC21	75.06	68.68	100.00
1920 x 1080@60Hz	1920 x 1080_60 (リデュースド ブランキング)	60	67.5	148.5
1920 x 1200@60Hz	1920 x 1200_60 (リデュースド ブランキング)	59.95	74.038	154
3840 x 2160	3840 x 2160_30	30	67.5	297
3840 x 2160	3840 x 2160_60 (HDMI 1 ポート 経由時のみ)	60	135	594

☞ 上記のタイミングは、EDID ファイルと VGA グラフィック カードの制限により、サポートされない場合があります。一部のタイミングを選択できない場合もあります。

タイミング	解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル周波数 (MHz)
480i	720 (1440) x 480	59.94	15.73	27
480p	720 x 480	59.94	31.47	27
576i	720 (1440) x 576	50	15.63	27
576p	720 x 576	50	31.25	27
720/50p	1280 x 720	50	37.5	74.25
720/60p	1280 x 720	60	45.00	74.25
1080/24P	1920 x 1080	24	27	74.25
1080/25P	1920 x 1080	25	28.13	74.25
1080/30P	1920 x 1080	30	33.75	74.25
1080/50i	1920 x 1080	50	28.13	74.25
1080/60i	1920 x 1080	60	33.75	74.25
1080/50P	1920 x 1080	50	56.25	148.5
1080/60P	1920 x 1080	60	67.5	148.5
2160/24P	3840 x 2160	24	54	297
2160/25P	3840 x 2160	25	56.25	297
2160/30P	3840 x 2160	30	67.5	297
2160/50P	3840 x 2160 (HDMI 1 ポート経由時のみ)	50	112.5	594
2160/60P	3840 x 2160 (HDMI 1 ポート経由時のみ)	60	135	594

# 保証と著作権について

## 保証

株式会社 JVCケンウッドは、本製品が正常に使用および保管される場合に限り、本製品の材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。

保証を受ける際には、購入日の証明が必要となります。保証期間中に本製品に瑕疵があることが判明した場合、株式会社 JVCケンウッドの全責任と、お客様に対する全面的な補償は、瑕疵のある部品の交換（工賃を含む）に限られます。保証サービスを受ける場合は、製品を購入した販売店に直ちに連絡してください。

重要：お客様が株式会社 JVCケンウッドの文書による指示に従わずに操作を行った場合はこの保証は無効となります。特に本製品は環境湿度と高度は取扱説明書に記載される環境要件を満たす必要があります。また、ホコリが立ちやすい場所での使用はお止めください。この保証により、お客様には特定の法的権利が与えられます。また、在住している国によっては、お客様にその他の権利が与えられることもあります。

## 著作権

Copyright © 2018. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、株式会社 JVCケンウッドの事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

すべての商標と登録商標の所有権は、各社に帰属します。

## おことわり

株式会社 JVCケンウッドは、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。さらに、株式会社 JVCケンウッドは本書を改定する権利と、このような改定や変更についていかなる人物に対しても通知する義務を負うことなく内容を変更できる権利を有しています。